

宮城県感染症発生動向調査情報(第17週)

宮城県【平成27年05月01日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2015.4.20 ~ 4.26 ・ 第17週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第14週	第15週	第16週	第17週
水痘	6 1.20	3 0.30	1 0.20	1 0.50	2 0.67			19 0.70	32 0.54	657	レ→	→	→	○
流行性耳下腺炎		2 0.20						5 0.19	7 0.12	126	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	33 6.60	31 3.10	41 8.20	20 10.00	19 6.33	44 8.80	8 4.00	200 7.41	396 6.71	8,949	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	1 0.20	3 0.30				2 0.40	0.50	1 0.41	18 0.31	204	レ→	→	→	
伝染性紅斑	7 1.40	12 1.20	16 3.20		1 0.33	2 0.40	4 2.00	21 0.78	63 1.07	871	レ→	→	○→	◎
突発性発しん	2 0.40	5 0.50	4 0.80	1 0.50	2 0.67	3 0.60	1 0.50	21 0.78	39 0.66	516	レ→	→	○→	○
ヘルパンギーナ										13	→	→	→	
インフルエンザ	15 1.88	15 1.00	22 2.75			67 8.38	3 0.75	38 0.86	160 1.68	19,205	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	2 0.40	1 0.10						11 0.41	14 0.24	246	→	→	→	
流行性角結膜炎						1 1.00		4 0.67	5 0.42	52	→	→	→	
急性出血性結膜炎			2 2.00						2 0.17	3	→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31 6.20	19 1.90	4 0.80	2 1.00	2 0.67	11 2.20	1 0.50	86 3.19	156 2.64	2,450	◎→	○→	○→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)										1	→	→	→	
無菌性髄膜炎										3	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎				1 1.00			1 1.00		2 0.17	116	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症			1 0.20		1 0.33			1 0.04	3 0.05	316	→	→	→	
拡張疾病			4	2				2	2	62				
不明発疹症	1													
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								0.40	0.17					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 女性1名
 - 大崎管内 男性1名(第13週)、男性2名
 - 栗原管内 男性2名(第16週)
 - 仙台管内 男性1名、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O91)
 - 仙台管内 女性1名
- 4類感染症: E型肝炎
 - 仙南管内 男性1名
 - つがが虫病 男性1名
 - 大崎管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名
 - 侵袭性インフルエンザ菌感染症
 - 大崎管内 女性1名(第16週)

*男児、女児は6歳未満

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

今週の感染症のコメント
— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —
【伝染性紅斑】
大崎、気仙沼管内で警報継続中。
【急性出血性結膜炎】
大崎管内で警報値を超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
感染性胃腸炎集団発生事例より
栗原管内 第17週採取分 ノロウイルスGⅡ 3件
気仙沼管内 第17週採取分 サポウイルス 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 報 告		
	第15週採取分 (4.6~4.12)	中 間 報 告 第16週採取分 (4.13~4.19)	第17週採取分 (4.20~4.26)
E型肝炎ウイルス	0件	3件	0件
RSウイルス	0件	0件	1件
Aデングウイルス	0件	0件	2件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	2件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
報告週												
2015年 第15週	29.1	34.0	6.4	1.4	5.7	7.1	1.4	8.5	5.0	0.7	0.7	141
第16週	23.1	30.1	24.5	0.0	4.2	4.2	4.2	3.5	2.8	1.4	2.1	143
第17週	21.9	41.9	17.5	1.3	2.5	4.4	5.0	3.8	0.6	1.3	0.0	160

インフルエンザ定点
小児科定点と内科定点
を合わせたもので、
2015.4.1から県全体で
95定点(県:51、仙台
市:44)となりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第15週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.86)、山形県(3.71)、福井県(3.56)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は77例と前週と比較して減少した。RSウイルス感染症: 報告数は681例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県(5.58)、石川県(5.00)、富山県(4.38)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別では大分県(12.92)、鹿児島県(10.00)、石川県(9.76)が多い。水痘: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(0.92)、富山県(0.90)、宮崎県(0.81)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県(3.87)、佐賀県(2.78)、沖縄県(2.44)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では滋賀県(1.19)、千葉県(0.97)、東京都(0.91)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では富山県(1.00)、石川県(0.80)、福島県(0.71)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は減少した。42都道府県から225例報告があり、年齢別では0歳(26例)、1~4歳(155例)、5~9歳(37例)、10代(6例)、60代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

【つがが虫病】

宮城県において、大崎管内で今年度初めてのつがが虫病患者の発生がありました。県では4月22日に注意喚起を行っています。つがが虫病は、ダニの一種であるツツガムシに刺されることによるリケッチア症で、高熱、発疹などの症状が見られます。山林、河原などに入る時は素肌を出さないようにするなどの予防対策に心がけてください。

【インフルエンザ】

石巻管内において患者数の増加がみられます。医療機関からの報告ではB型が主流となっております。引き続き日常的な予防を心がけてください。